

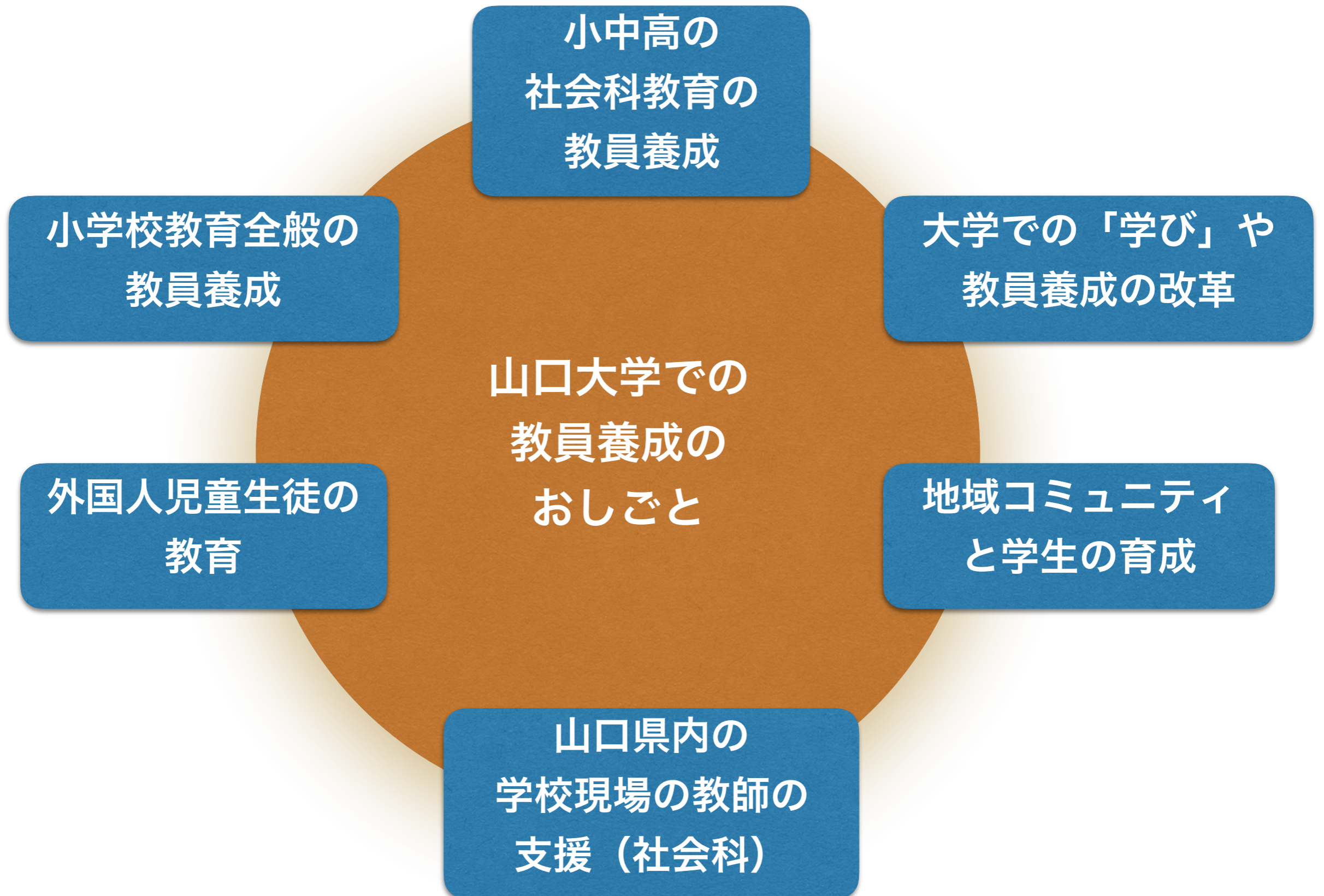


「私たち/彼ら」像の捉え直しと向き合う

教員養成の場所から

南浦 涼介 (山口大学)

私のこと



小学校6年生

国際理解の単元

さまざまな国を調べてポスターに作成

教室外のオープンスペースに掲示

「〇〇国は大変そうだなあ」

「私は日本に生まれてよかった」

多文化共生における私の「視点」

教員養成の仕事という観点

学習指導要領 = 「国民形成の設計書」

(水原 2010)

教師：子どもたちを「社会化」の過程の中で「国民」にしていく役割

学習指導要領と教師の「教育観」

学習指導要領 = 大綱

実際のカリキュラムは教師の教育観によって「解釈」されて作られていく
(ソーントン, 2013)

「学生たち自身の『私たち』像の捉え直しをいかに促していくか」

多文化的状況の中、「解釈」に大きな影響をもたらすもの

「私たち」とは何を指しているのか
という感覚

(「私たち」 ≠ 「日本人」)

「私たち」

「国民」

「共生する」

ということの「観」を
学生たちが考えていくこと



私たちの「名札」はどのように書けばいいのか？

「あのアニメ」は誰のものか？

「日本人」は誰を指すのか？

「地域の人」とは誰を指すのか？

「これからの私たち」を考える

実践例 1 社会科教員志望学生×留学生×「私たち」

ヒューマンライブラリー
= 人を本に見立てて読者に貸し出す図書館

社会の中で「マイノリティとされる人」や「偏見を受けやすい人」を「本」として貸し出し、「本」と「読者」が対話していく

学生は

- 「本」となる語り手を見つけ、交渉を行う
- 当日の開催の計画を立てていく

2016年度

里親支援家, 自営業者, 生まれつき障害を持っている人, 在日外国人, 兵役経験者, 被爆者, 育休を取った男性, LGBT ほか

しかし「私たち」像の転換は「教育観」に未だ結びつき難い

実践例 1

中身の重要性は理解できたが、なぜこの学習が社会科
教員養成の「中等公民教育
論」で行うのかわからない

「教育法」の授業は「教育
技術の獲得」であり、哲学
的な学びは別の専門科学の
授業で行えばいい

「教員になる」「教員養成」観の
学生と私との間でのズレを
説明しきれていない

実践例 2

本の人たちも「私たち」
だという実感や変化の感
覚はあった。

それは教師になる私たち
にとってどういう意味が
あるか、は聞けていない

「共生感覚（私たち観）」の変化は
教師の資質にほんとはつながったか？

- 駒澤大学社会科学科坪井ゼミ (2012). 『ココロのバリアを溶かすーヒューマンライブラリー事始め』 人間の科学新社
- ソントン, S. J. (2013). 渡部竜也, 山田秀和, 田中伸, 堀田諭 (訳) 『教師のゲートキーピングー主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて』 春風社. (Thornton, S. J., 2005 Teaching Social Studies That Matters, Teachers College, NY: Teachers College Press.)
- 永井涼子・南浦涼介 (2014). 大学授業において留学生と日本人学生は共に何を学べるか：留学生教育と社会科教員養成をつなぐ試み, 『大学教育』 第11号, pp.49-67.
- 丹生英治 (2007). 歴史教育課程におけるナショナルな空間認識形成の分析：学習指導要領社会を手がかりとして 『社会系教科教育学研究』 19, 73-80.
- バンクス, J. A. (1996). 平沢安政 (訳) 『多文化教育ー新しい時代の学校づくり』 明石書店. (Banks, J. A. 1991, An introduction to multicultural education, MA: Allyn & Bacon)
- 福田善也 (1989). 『社会問題の社会学』 サイエンス社.
- 水原克敏 (2010). 『学習指導要領は国民形成の設計書ーその能力観と人間像の歴史的変遷』 東北大学出版会.
- 南浦涼介 (2013). 『外国人児童生徒のための社会科教育：文化と文化の間を能動的に生きる子どもを授業で育てるために』 明石書店.
- 南浦涼介 (印刷中). 「実践を研究として書く」ということの意味：実践の当事者として 『異文化間教育』 43.
- 南浦涼介・源田智子・岡村吉永 (2015). 教師教育の場で「学校」を越える自発的活動をする意味と可能性：小学校教育コースにおける「ヒューマン・ライブラリー」の取り組みから, 『山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』 39, 73-82.
- 南浦涼介, 山本冴里 (2015). 「私たちのこれからの辞書」はどのようにして作りだされたか：留学生と社会科教員志望学生の合同授業報告, 山本冴里, 新井久容, 有田佳代子, 南浦涼介 日本語教室に表れる「想像の共同体」は, どのように再構築していくことができるのか：3つの実践に見えた可能性, 日本語教育学会春季大会, 2015年5月30日 武蔵野大学.